

1. 腎臓病に関わる幅広い疾患に対応

急性腎障害、糸球体腎炎、慢性腎臓病、腎不全に加えて、腎臓病の原因となる高血圧、糖尿病、膠原病などに対する治療を幅広く行っています。最新の知見に基づいた的確な診断と最適な治療を心がけ、地域に愛され、信頼される腎臓内科を目指して全力で取り組んでいます。

2. ゆとりを持った腎代替療法の説明

腎不全期（腎代替療法の実施前）に動脈硬化など尿毒症物質による障害が強まります。ゆとりを持って腎代替療法の説明を行うことで、適切な時期に腎代替療法を実施することが可能となります。さらに、血液透析だけでなく、腹膜透析・腎移植の選択肢も広がります。血液透析に必要なシャント造設術、腹膜透析に必要なカテーテル挿入術は当科で実施しています。当院では血液透析の装置を15台有し、感染対策として個室も完備しています。



3. 県内で唯一、腎移植を実施できる医療機関

山梨大学医学部附属病院は、県内で唯一、腎移植を実施できる医療機関です。腎臓内科外来で腎移植に関する説明や腎移植の可否を判断し、泌尿器科で移植手術を実施します。腎臓内科では、移植前の周術期管理を担当するとともに、移植後の管理も担当しています。

4. 腎臓リハビリテーションの実施

当科では、血液透析や腹膜透析を導入した患者さんに対して、腎臓リハビリテーションを実施しています。腎臓リハビリテーションを通して、運動療法や食事の管理を行うことで、透析患者さんの身体的障害のみならず精神的障害の軽減が期待されています。

